



「特定利用港湾」指定され軍事利用されようとしている川内港

川内港を軍事利用へ

自衛隊や海上保安庁が訓練などで円滑に使えるように整備・拡充する「特定利用港湾」に川内港を指定する動きが活発化しています。鹿児島県内では8つの空港と港が候補となっていますが、政府は施設のある自治体への説明を終え、今後、県と調整し追加しようとしています。川内港が自衛隊などの武器・弾薬の積み下ろし港になる恐れがあります。

政府は有事に備え、各地の空港や港湾を「特定利用空港・港湾」に指定し自衛隊と海上保安庁の航空機や艦船などが訓練などで円滑に使えるように整備・拡充する方針で、4月、全国の16の空港と港が候補となっています。鹿児島県は、政府は30日までにこれらの空港や港がある市と町に説明を終えたとしています。県内で候補となっているのは、空港が鹿児島空港と徳之島空港の2か所、港が鹿児島

港、川内港、志布志港、西之表港、名瀬港、和泊港の6カ所。

薩摩川内市には5月28日にオンラインで説明しています。

市長「(国に)説明求める」

日本共産党の井上かつひろ薩摩川内市議会議員は、6月27日の6月市議会一般質問で

中岳周辺で敵地調査が始まった段階であると、いう以外の情報は持ち合わせていない。

「本市としては、国、県が本市にすべきものにつきましても、情報提供、説明を求めていく」と川内港の特定利用港指定を断る意思はないことを明らかにしました。

質問「特定利用港湾への指定により武器・弾薬の積み卸しがされることになっている。武器・弾薬とはどのような種類があるのか」
答弁「具体的なことについてはたずねていない」

質問「オスプレイや軍用ヘリコプターが離発着することはないか」
答弁「ヘリコプターなどの航空機が港湾で離発着訓練するかどうかの情報は、ない」など

質問「さつま町に弾薬庫が設置されれば、川内港と公道を武器弾薬の運搬に使われることにならないか」
答弁「さつま町の弾薬庫の設置については、

質問「さつま町に弾薬庫が設置されれば、川内港と公道を武器弾薬の運搬に使われることにならないか」
答弁「さつま町の弾薬庫の設置については、

井上市議のコメント
川内港は川内原発と3キロしか離れていない。川内港を軍事利用はさせない。

日本共産党 演説会

市政も国政も変える 希望の道

7月21日(日) 14時

ss プラザせんだい 301~303

弁士 笠井亮(衆議院議員・日本共産党)

井上かつひろ(薩摩川内市議)



かさい あきら
日本共産党 笠井 亮
衆議院議員(比例東京ブロック)

